

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市多摩川の里身体障害者福祉会館	評価対象年度	令和元年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 理事長 成田 哲夫 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害福祉課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害福祉課

2. 事業実績

利用実績	<p>[講習会・ボランティア育成事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話入門講習会(夜間):全8回 183名 ・手話入門講習会(昼間):全8回 83名 ・小学生のための福祉交流学習:連続3日間 66名 ・小学校における福祉交流会:全4回 208名 <p>[作業室]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在籍数:生活介護 27名(令和2年3月31日現在) ・食事提供件数:4,565件、入浴サービス:588件 <ul style="list-style-type: none"> ・要約筆記入門講習会:全5回 22名 ・音声訳(朗読)入門講習会:全3回 23名 ・点字ボランティア入門講習会:全5回 16名 																						
収支実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">身障会館・作業室全体 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>146,229,339</td> </tr> <tr> <td>委託料他</td> <td>26,345,000</td> </tr> <tr> <td>作業収入他</td> <td>118,918,437</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>965,902</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>103,896,978</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>80,517,218</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>12,738,580</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>10,356,475</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>284,705</td> </tr> <tr> <td>差額</td> <td>42,332,361</td> </tr> </tbody> </table>	身障会館・作業室全体 (円)		収入	146,229,339	委託料他	26,345,000	作業収入他	118,918,437	その他	965,902	支出	103,896,978	人件費	80,517,218	事務費	12,738,580	事業費	10,356,475	その他	284,705	差額	42,332,361
身障会館・作業室全体 (円)																							
収入	146,229,339																						
委託料他	26,345,000																						
作業収入他	118,918,437																						
その他	965,902																						
支出	103,896,978																						
人件費	80,517,218																						
事務費	12,738,580																						
事業費	10,356,475																						
その他	284,705																						
差額	42,332,361																						
サービス向上の取組	<p>作業室では、重度化している利用者の身体機能の維持・向上を図るため、理学療法士の評価を踏まえ、機能訓練のプログラムを重視して行った。また、看護師の指示のもと、利用者個々のPT訓練ファイルを作成し活用することで、全職員が統一した方法で行うことができ、質の高い、個々の状況に応じたサービス提供を行っている。</p> <p>講習受講修了者を、ボランティアサークルで活動できるよう支援することで、受講者が各団体の活動に参加し、ボランティア育成に寄与した。</p>																						

3. 評価 (評価段階:5~1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	5	10
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・講習受講修了者を、ボランティアサークルで活動できるよう支援することで、受講者が各団体の活動に参加し、ボランティア育成に寄与した。 ・障害者への理解を深める福祉交流会を実施し、参加した小学生が後日、学校の学習発表会で発表するなど、障害者福祉の活動促進につながった。 ・作業室では、医療依存度の高い利用者を受け入れるため看護師2名を配置し、毎日必ず看護師が勤務できる体制を整えた。また、95.9%と高い稼働率を維持してサービス提供を行った。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
(評価の理由) ・概ね良好な収支状況である。法人内監事監査を受けており、指摘事項はなかった。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	5	10
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
(評価の理由) ・作業室では、利用者の嚙下状態に合わせて、食形態を対応するとともに、経管栄養となる嚙下状態の方でも、介助方法を工夫して、食事提供することで、食べることを損なわないよう、適切なサービス提供を行っている。 ・作業室では、重度化している利用者の身体機能の維持・向上を図るため、理学療法士の評価を踏まえ機能訓練のプログラムを重視して行った。また、看護師の指示のもと、利用者個々のPT訓練ファイルを作成し活用することで、全職員が統一した方法で行うことができ、質の高い、個々の状況に応じたサービス提供を行っている。 ・会館では、地区社協、障害者団体等で構成する運営委員会を開催し、会館運営に関する意見等を伺うなど、利用者意見の反映に向けた取組が組織的に行われている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) ・多様化する利用者ニーズに対応するため、外部研修計画を立て、全職員が必ず年1回は受講できるようにしているとともに、外部研修を受講した場合は、伝達研修を行うことで、その知識を全員で共有するなど、職員のスキルアップが図られている。 ・ヒヤリハット・事故報告マニュアルを見直しを行った。マニュアルに基づき、事故等が起こった際は報告を行うとともに内容、再発防止策等を職員全員で共有することで、安全・安心への取り組みを行っている。 ・コンプライアンスについて、職員会議などで周知徹底を行っている。また、利用者の権利擁護について、セルフチェックリストを全職員に配布し、集計結果を職員会議の場で共有することで、支援業務における悩みや不適切な支援の是正について組織で取り組んでいる。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) ・会館の備品等の整理、充実に努め、利用者の利便性の向上を図った。 ・個人情報の取扱いに配慮し、個人情報はすべて鍵付き書庫に保管するなど、適正に管理している。 ・併設されている特養と連携し、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施している。					

4. 総合評価

評価点合計	74	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E/標準:C/A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
 A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・障害者への理解を深める福祉交流会を実施し、参加した小学生が後日、学校の学習発表会で発表するなど、障害者福祉の活動促進につながったことが評価できる。
 ・作業室では、医療依存度の高い利用者を受け入れるため看護師2名を配置し、毎日必ず看護師が勤務できる体制を整えた。また、95.9%と高い稼働率を維持してサービス提供を行ったことが評価できる。
 ・作業室では、重度化している利用者の身体機能の維持・向上を図るため、理学療法士の評価を踏まえ機能訓練のプログラムを重視して行った。また、看護師の指示のもと、利用者個々のPT訓練ファイルを作成し活用することで、全職員が統一した方法で行うことができ、質の高い、個々の状況に応じたサービス提供を行っていることが評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・来年度も引き続き、各事業において質の高いサービスを提供し、障害者の自立と社会参加の促進が実現されるように取り組んでいくこと。